

# 大規模地震時の火災対策について

～ 地域の初期消火力、出火防止対策の強化 ～

## 地震時の火災について

### 火災原因の 6 割が電気



断線した電気  
コードから出火



衣類が電気ストーブ  
に落下し出火



### 能登半島地震では...

#### 輪島市朝市通り周辺で大規模火災が発生

- 場所 : 輪島市河井町
- 出火時刻 : 1月1日夕方
- 被害状況 : 焼失面積 : 約49,000m<sup>2</sup>  
焼損棟数 : 約240棟

被害状況は、令和6年能登半島地震に伴い石川県輪島市で発生した大規模市街地火災に係る消防庁長官の火災原因調査報告書（概要版）より



輪島朝市通り周辺

電気に起因した火災が発生した  
可能性が高いとされている

## 区の被害想定

多摩東部直下地震(規模M7.3)が起こると  
練馬区では **震度6弱** や **震度6強** が想定されています。

東京都防災会議の「首都直下地震等による東京の被害想定」(令和4年公表)より



この地震が冬の夕方(風速8m/s)に発生した場合  
次のような **甚大な被害** が想定されています!

火災での焼失

約 **11,000** 棟



地震火災への対策の強化が必要

## 出火防止対策

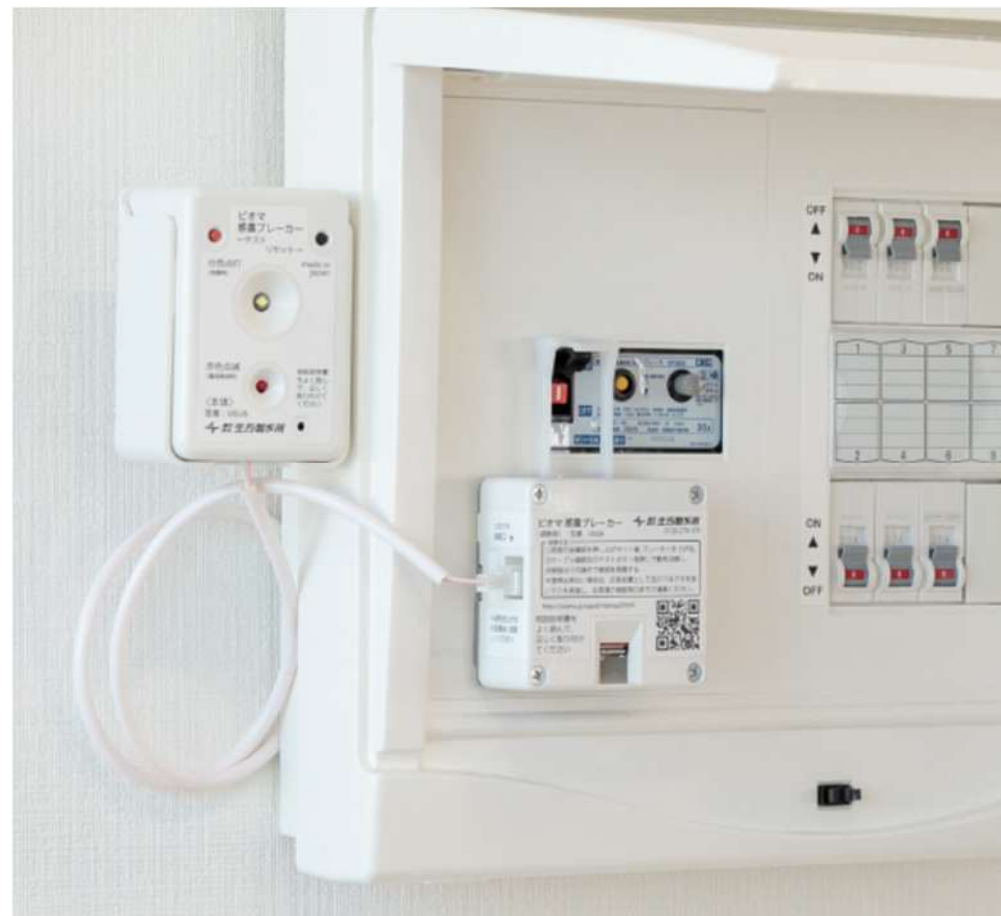
### 感震ブレーカー

【令和6年度実績】

1,117 件 設置済

当初予定数の約 2 倍

令和7年度  
現在の申請数  
約 900 件



## 【参考】防災・減災対策による被害軽減効果の推計（東京都）

表 出火抑制による対策効果の算定条件

| 項目                     | 現況    | 促進① | 促進② |
|------------------------|-------|-----|-----|
| (1) 電気を要因とする出火の低減（対策率） | 8.3%  | 25% | 50% |
| (2) 初期消火率の向上           | 36.6% | 60% | 90% |

表 出火件数・焼失件数の対策効果（都心南部直下地震、冬・夕方、風速 8m/s）

|         | 現況      | 促進①    | 促進②    |
|---------|---------|--------|--------|
| 出火件数（件） | 623     | 372    | 160    |
| 焼失棟数（棟） | 118,734 | 39,573 | 14,067 |

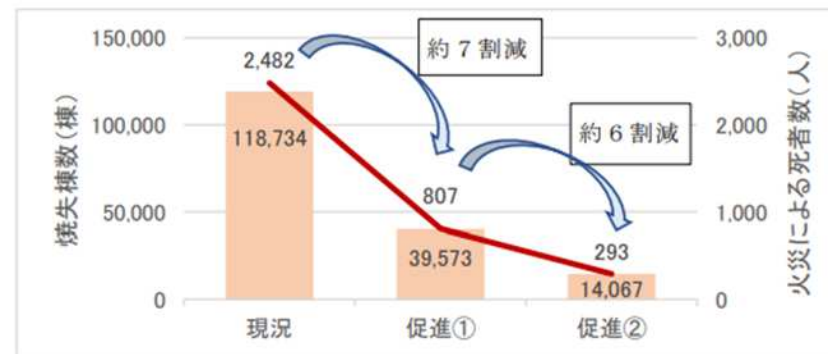


図 死者数の対策効果（都心南部直下地震、冬・夕方、風速 8m/s）

都は感震ブレーカーの設置率が25%に向上すると、被害が7割減少すると推計

## 地域の初期消火力の強化



令和7年度

5カ所追加

## 街頭スタンドパイプ

### 【令和6年度実績】

12カ所設置

-  区立施設 3
-  ローソン 3
-  ファミマ 2
-  JA 2
-  信用金庫 1



## 地域の初期消火力の強化

### 防災訓練車

#### 【令和6年度実績】

出動回数 164 回

参加者数 16,470 人

- 避難拠点・防災会の訓練
- 学校・保育園の防災訓練
- 照姫まつりなどのイベント



令和7年度  
現在の参加者数  
約2,300人